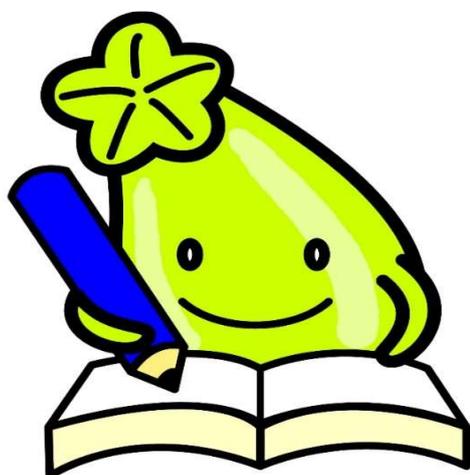


令和4年度 第2回 東成区民アンケート報告書



ご協力いただいた方
ありがとうございました！

令和4年12月実施
大阪市東成区役所

I アンケートの概要

1) 調査の目的

東成区の事業や取組みについて、区民の皆さんから、広くご意見や評価をいただくことで、様々なニーズを把握し、今後の東成区政に反映していくための貴重な情報として活用することを目的として、アンケートを実施しました。

2) 調査のテーマ

令和4年度第2回 区民アンケートのテーマは次のとおりです。

■防災 ■防犯・交通安全 ■地域福祉 ■SDGs(エス・ディー・ジーズ) ■広報

3) 調査の実施状況

調査期間 : 令和4年12月1日～12月15日

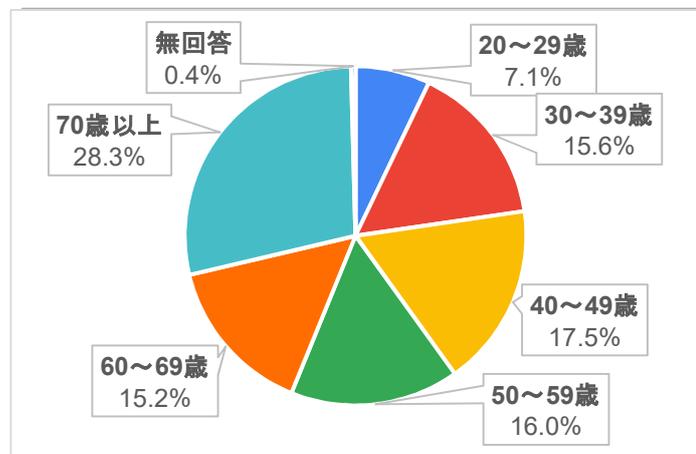
方法 : 郵送と行政オンラインシステム

対象 : 住民基本台帳から無作為抽出した区民1,300名

回答者数 : 481名(37.0%)

4) 回答者属性

	全体	481
年齢別	20～29歳	34
	30～39歳	75
	40～49歳	84
	50～59歳	77
	60～69歳	73
	70歳以上	136
	無回答	2



※アンケート結果については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

※問1から問6までは、回答者属性にかかる質問です。

Ⅱ アンケート結果

◆◆◆◆【防災について】◆◆◆◆

平成30年6月の大阪北部地震や同年9月の台風21号など、近年大きな被害をもたらす自然災害が多数発生しており、今まで以上に災害に対する備えが必要となっています。
そのため、市民の一人ひとりが「自分の命は自分で守る」という心構えを持つことが大変重要となっています。

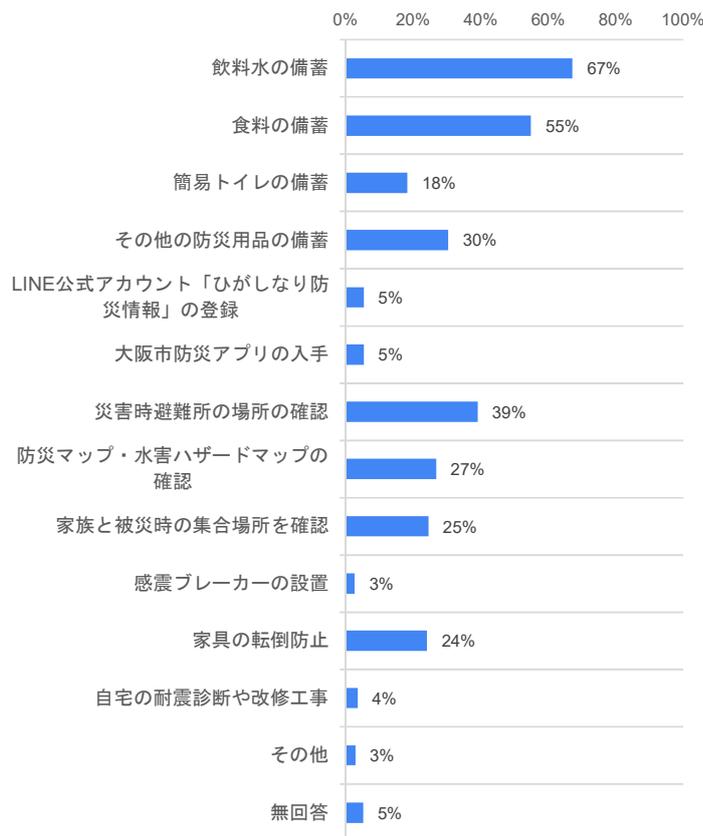
問7 災害による被害を最小限にするためには、日ごろからの備えが重要です。

あなたは自宅でのような防災対策をしていますか？【5つ以内で複数回答可】

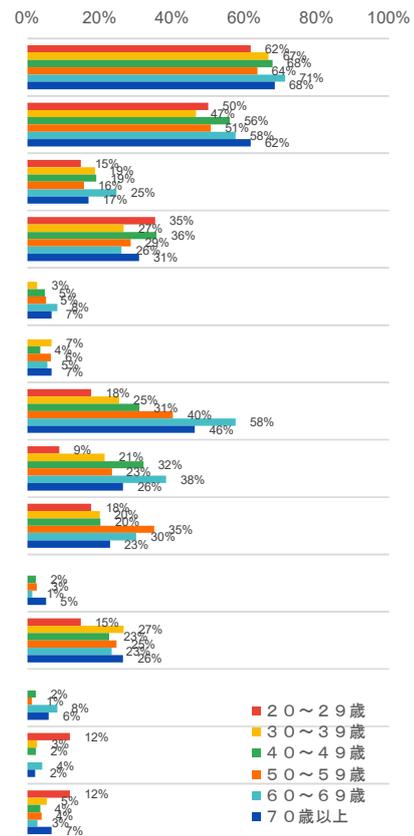
項目	回答数	比率(%)
1 飲料水の備蓄	323	67.2
2 食料の備蓄	264	54.9
3 簡易トイレの備蓄	88	18.3
4 その他の防災用品の備蓄	146	30.4
5 LINE公式アカウント「ひがしなり防災情報」の登録	26	5.4
6 大阪市防災アプリの入手	26	5.4
7 災害時避難所の場所の確認	188	39.1
8 防災マップ・水害ハザードマップの確認	129	26.8
9 家族と被災時の集合場所を確認	118	24.5
10 感震ブレイカーの設置	13	2.7
11 家具の転倒防止	116	24.1
12 自宅の耐震診断や改修工事	17	3.5
13 その他	14	2.9
無回答	25	5.2
回答者数		481

●その他の主な意見
・特に何もしていない

<全体>



<年代別>



●各家庭の防災対策の充実をめざす

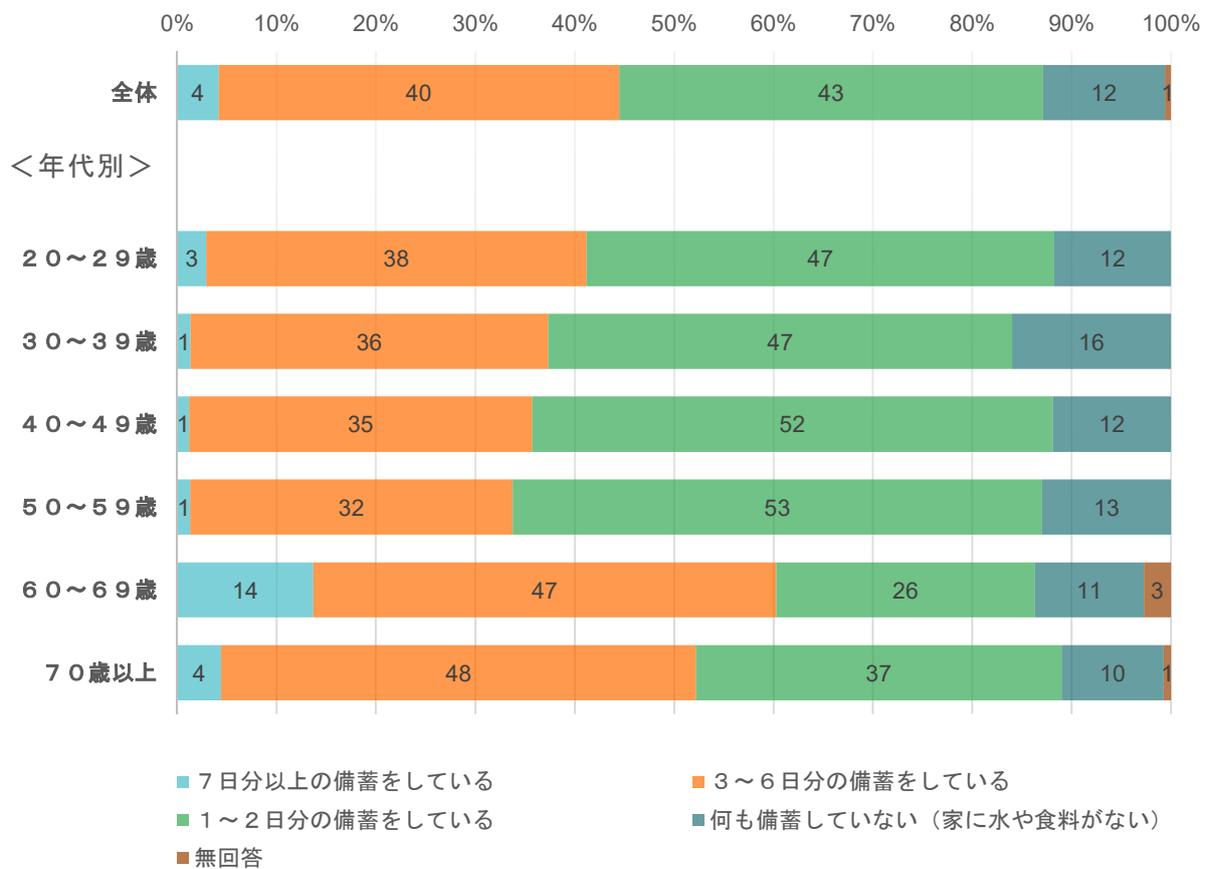
・「飲料水の備蓄」は67.2%、「食料の備蓄」は54.9%となっているものの、その他の防災対策を行っている割合は低く、特に20歳代は「災害時避難所の場所の確認」など多くの項目で他の年代よりも低い結果となりました。これは、昨年度の調査と同様の傾向となっています。

・特に20歳代に対する効果的な啓発手法について検討するとともに、区広報誌「ひがしなりだより」やホームページ、ひがしなり防災情報LINEなどを通じ、引き続き家庭内の防災対策について発信していきます。

◆◆◆◆【防災について】◆◆◆◆

問8 大きな災害が発生した場合、救援物資が届くまでに数日間かかると言われていますが、あなたは自宅で何日分の飲料水や食料を備蓄していますか？

項目	回答数	比率(%)
1 7日分以上の備蓄をしている	20	4.2
2 3～6日分の備蓄をしている	194	40.3
3 1～2日分の備蓄をしている	205	42.6
4 何も備蓄していない(家に水や食料がない)	59	12.3
無回答	3	0.6
回答者数	481	



●全年代で8割以上が1日分以上の食料の備蓄を行っている

- ・全年代で1日分以上の飲料水や食料の備蓄を行っているものの、3日分以上の備蓄をしている割合は、60歳代以上で50%以上、30～50歳代で40%以下でした。
- ・昨年度の調査と比べ、全体的には飲料水や食料の備蓄をしている割合は増加していますが、40～50歳代では減少しております。
- ・発災直後はスーパーやコンビニ等の物資はすぐなくなるため、ローリングストックにより無駄なく備蓄する手段などを、区広報誌「ひがしなりだより」やホームページ、ひがしなり防災情報LINEなどを通じて広報していきます。

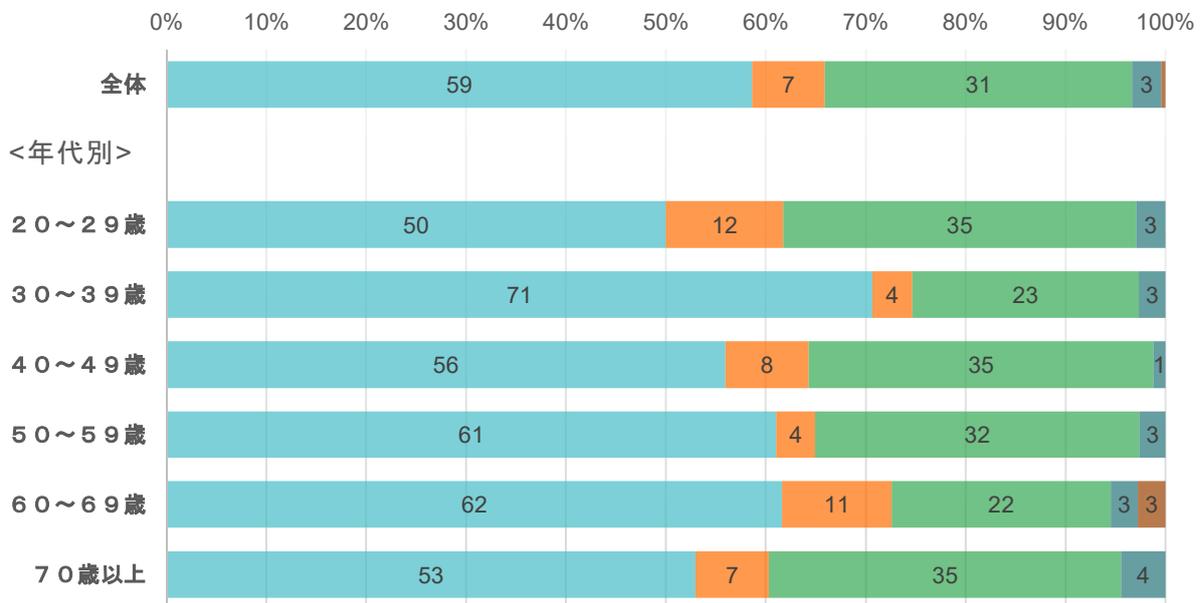
◆◆◆◆【防災について】◆◆◆◆

新型コロナウイルス感染症が流行している現状では、大人数が集まる避難所へ移動することで、感染症にかかり、かえって自らの健康を脅かしてしまいます。
 水害時の避難情報警戒レベル4が発令された場合は「避難指示」となり、危険な場所から全員避難していただくこととなりますが、どのような場合にどこに避難するのか、あらかじめ適切な行動を考えておく必要があります。

問9 水害時の避難情報警戒レベル4が発令された場合、あなたはどのような行動をとりますか？

項目	回答数	比率(%)
1 自宅は浸水するおそれがないため、自宅の安全な場所で待機する	282	58.6
2 自宅が浸水するおそれがあるため、安全な親戚・知人宅等へ避難する	35	7.3
3 近くの小中学校へ避難する	148	30.8
4 その他	14	2.9
無回答	2	0.4
回答者数	481	

●その他の主な意見
 ・近くのマンションへ避難する。
 ・官公庁施設へ避難する。



- 自宅は浸水するおそれがないため、自宅の安全な場所で待機する
- 自宅が浸水するおそれがあるため、安全な親戚・知人宅等へ避難する
- 近くの小中学校へ避難する
- その他
- 無回答

●「分散避難」への理解を促す

・全体では「近くの小中学校へ避難する」と回答した人数が、「安全な親戚・知人宅等へ避難する」と回答した人数の4倍以上となっており、まず近くの小中学校への避難を考える方が多い結果となりました。
 ・新型コロナウイルス感染症などが流行している現状では、避難所である小中学校だけではなく、「安全な親戚・知人宅」、「安全なホテル・旅館」等への避難も検討していただくよう、啓発を行っていきます。

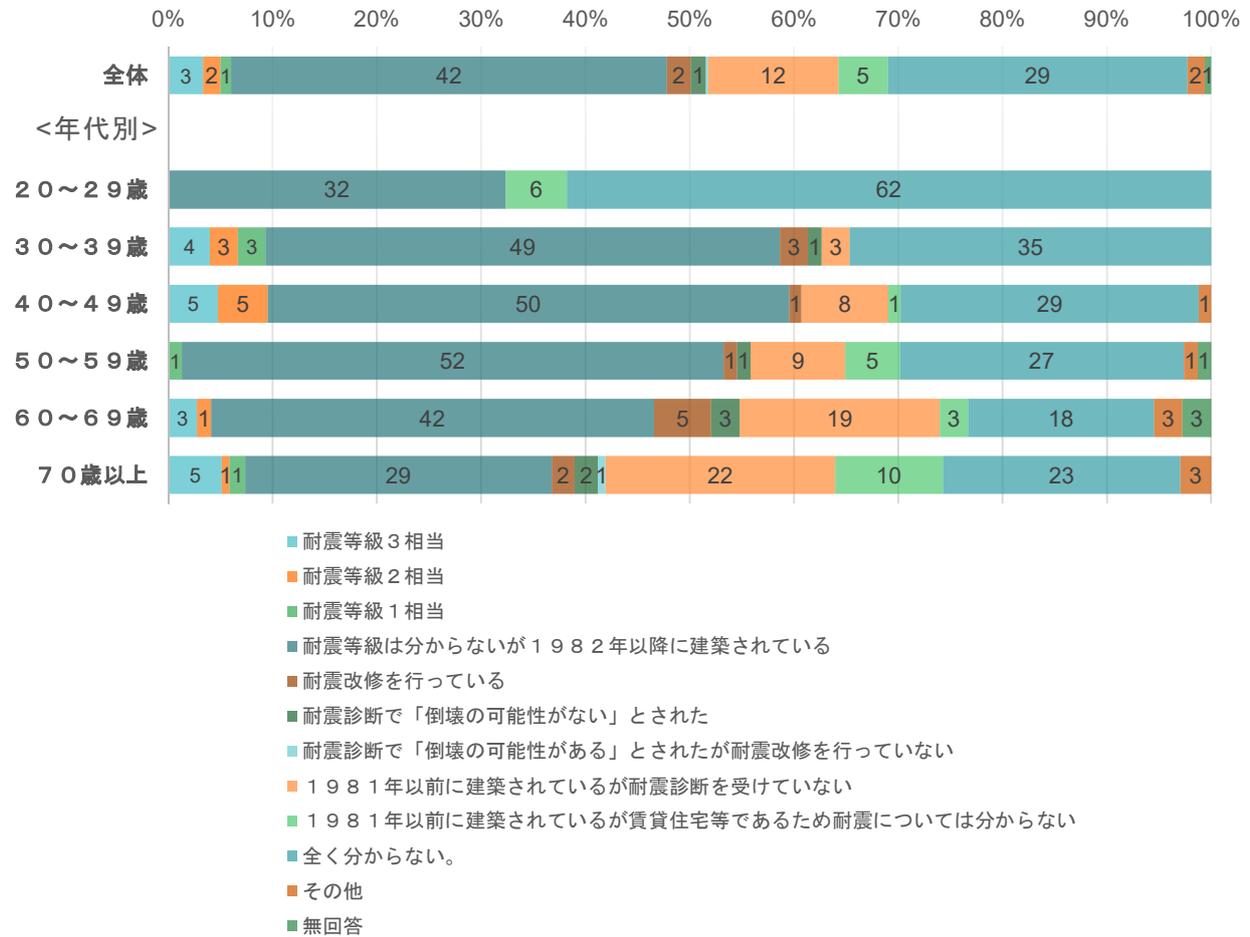
◆◆◆◆【防災について】◆◆◆◆

阪神・淡路大震災の死因は、家屋の倒壊や家具の転倒などによる圧迫死が大半を占めており、特に昭和56年以前の建物の半数以上が被害を受けていることがわかっています。そのため、お住まいの建物の地震に対する強度がどの程度か調べ、強度が不足している場合は耐震改修を行う必要があります。

問10 あなたがお住まいの建物の地震に対する強度はどの程度ですか？

項目	回答数	比率(%)
1 耐震等級3相当	16	3.3
2 耐震等級2相当	8	1.7
3 耐震等級1相当	5	1.0
4 耐震等級は分からないが1982年以降に建築されている	201	41.8
5 耐震改修を行っている	11	2.3
6 耐震診断で「倒壊の可能性がない」とされた	7	1.5
7 耐震診断で「倒壊の可能性はある」とされたが耐震改修を行っていない	1	0.2
8 1981年以前に建築されているが耐震診断を受けていない	60	12.5
9 1981年以前に建築されているが賃貸住宅等であるため耐震については分からない	23	4.8
10 全く分からない。	138	28.7
11 その他	8	1.7
無回答	3	0.6
回答者数	481	

●その他の
主な意見
・耐震補強済



●8割の方が住まいの建物の強度について分からない

- ・お住まいの建物の地震に対する強度について理解されていない方が非常に多い結果となりました。
- ・これまでの震災の教訓から、家屋倒壊により身の危険を脅かすことのないようにすることが重要です。
- ・大阪市では、耐震診断・改修費用の一部を補助する制度もございますので、特に、1981年以前に建築された建物につきましては、耐震診断・改修を行い、災害による被害を軽減できるよう努めてください。

◆◆◆◆【防犯・交通安全について】◆◆◆◆

東成区では、防犯意識を高め、地域の自主防犯活動の促進を図るとともに、警察などの関係機関と連携し、犯罪抑止のための効果的な防犯対策に取り組んでいます。
また、安全で安心な通行環境整備のため、地域や関係機関と連携し、様々な取り組みを行っています。

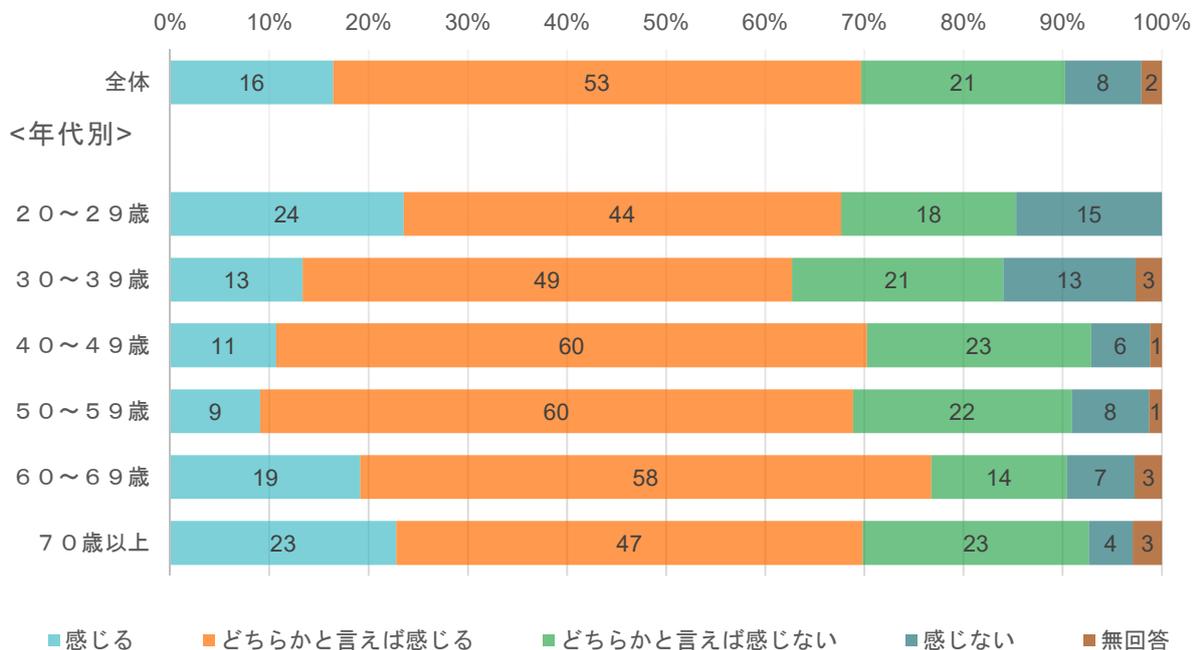
問11 東成区では、区役所、警察、建設局、地域団体が連携して、次のような様々な防犯活動に取り組んでいます。これらをふまえ、安全で安心なまちづくりが進んでいると感じますか？

<区役所や町会・地域団体の取り組み>

- ・東成区住みます芸人「相乗効果」のみんなで学ぼう防犯教室動画
- ・あんパトチームによる校外授業時での引率、見守り
- ・青色防犯パトロールカーによる地域巡回
- ・子ども向け防犯教室(保育所(園)、幼稚園、小学校)
- ・区民まつりや安全安心ミニフェスタ等での防犯啓発
- ・防犯カメラの設置
- ・子ども見守り隊
- ・こども110番の家 など

※あんパトチーム:東成区役所市民協働課に在籍する地域安全担当職員

項目	回答数	比率(%)
1 感じる	79	16.4
2 どちらかと言えば感じる	256	53.2
3 どちらかと言えば感じない	99	20.6
4 感じない	37	7.7
無回答	10	2.1
回答者数	481	



●約7割の方が安全で安心なまちづくりが進んでいると実感

- ・「感じる」が16.4%、「どちらかと言えば感じる」が53.2%となり、あわせて69.6%の方が、安全で安心なまちづくりが進んでいると回答されました。
- ・「感じる」「どちらかと言えば感じる」と回答された方の割合が昨年度のアンケート結果の66%と比較するとやや増加しています。今後も啓発活動のあり方について検討するとともに、広報活動についてもより積極的に取り組み、引き続き関係機関との連携のもと、安全で安心なまちづくりを進めます。

◆◆◆◆【防犯・交通安全について】◆◆◆◆

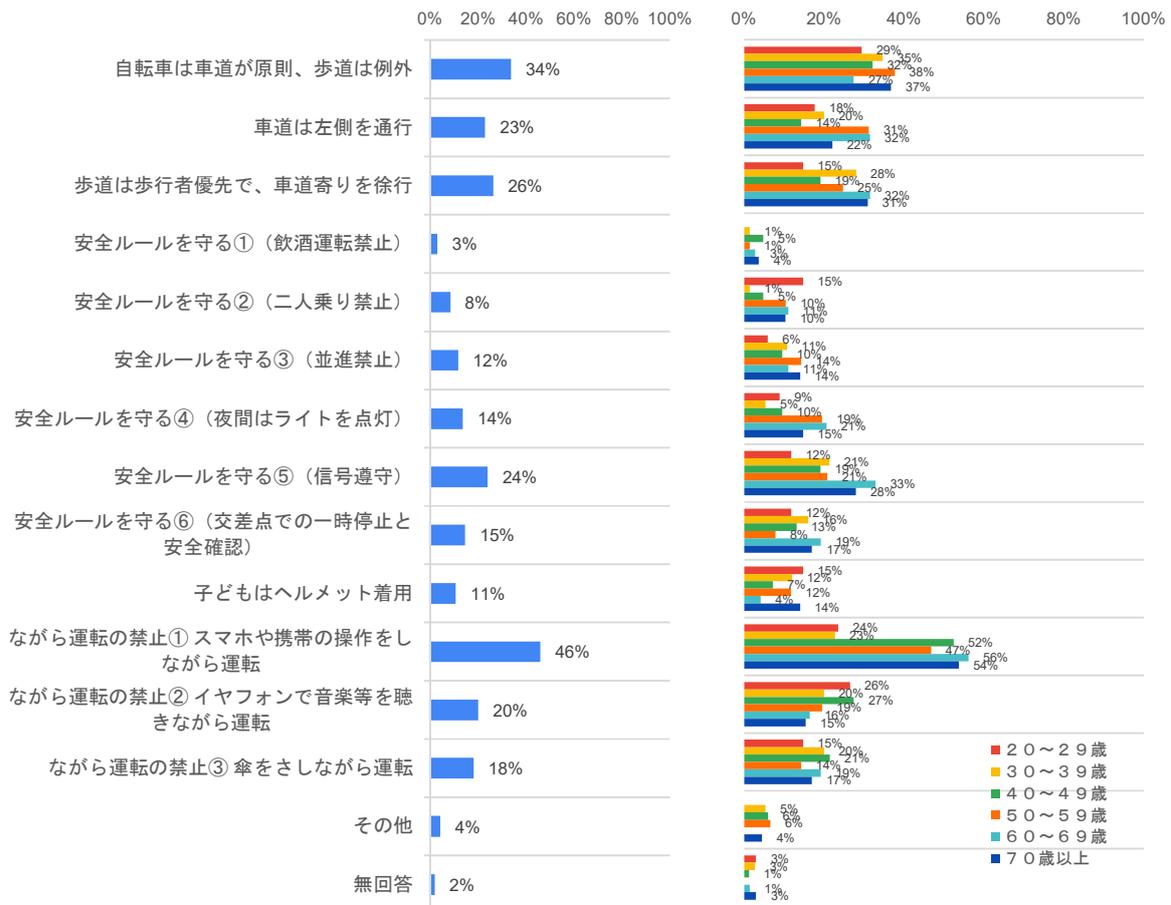
問12 昨今、自転車利用者による危険運転やヒヤリハット事案が増加しています。令和3年に東成区内の自転車事故発生件数は141件で、区内の全交通事故317件に対し44.5%と非常に高い割合です。次の運転行為のうち、東成区内で守られていないと感じる項目は何ですか？【3つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 自転車は車道が原則、歩道は例外	162	33.7
2 車道は左側を通行	110	22.9
3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行	126	26.2
4 安全ルールを守る①(飲酒運転禁止)	14	2.9
5 安全ルールを守る②(二人乗り禁止)	40	8.3
6 安全ルールを守る③(並進禁止)	56	11.6
7 安全ルールを守る④(夜間はライトを点灯)	65	13.5
8 安全ルールを守る⑤(信号遵守)	115	23.9
9 安全ルールを守る⑥(交差点での一時停止と安全確認)	70	14.6
10 子どもはヘルメット着用	51	10.6
11 ながら運転の禁止① スマホや携帯の操作をしながら運転	221	45.9
12 ながら運転の禁止② イヤフォンで音楽等を聴きながら運転	96	20.0
13 ながら運転の禁止③ 傘をさしながら運転	87	18.1
14 その他	20	4.2
無回答	9	1.9
回答者数		481

- その他の主な意見
- ・よそ見運転
- ・違法駐輪
- ・自転車で車道を走行するのは怖い
- ・交通ルールを守る意識の低さ

<全体>

<年代別>



●8割の方が「ながら運転」の禁止が守られていないと感じている。

- ・ながら運転の禁止のうち、「スマホや携帯の操作をしながら運転」が最も守られていないと感じており、30歳代以下が感じている割合が約2割に対し、40歳代以上の約5割の方が守られていないと感じています。
- ・また車道、歩道での自転車の通行ルールが守られていないと全体の8割の方が感じています。
- ・今後も交通安全にかかるマナーについて、多様なツールを用いた広報活動及び啓発活動を並行して実施するとともに、関係機関との連携のもと、より効果的な取組みについて検討を進めてまいります。

◆◆◆◆【地域福祉について】◆◆◆◆

東成区では、地域における支え合い活動が充実し、区民の皆様が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域の方々や専門機関と連携して地域福祉の取組みを進めています。

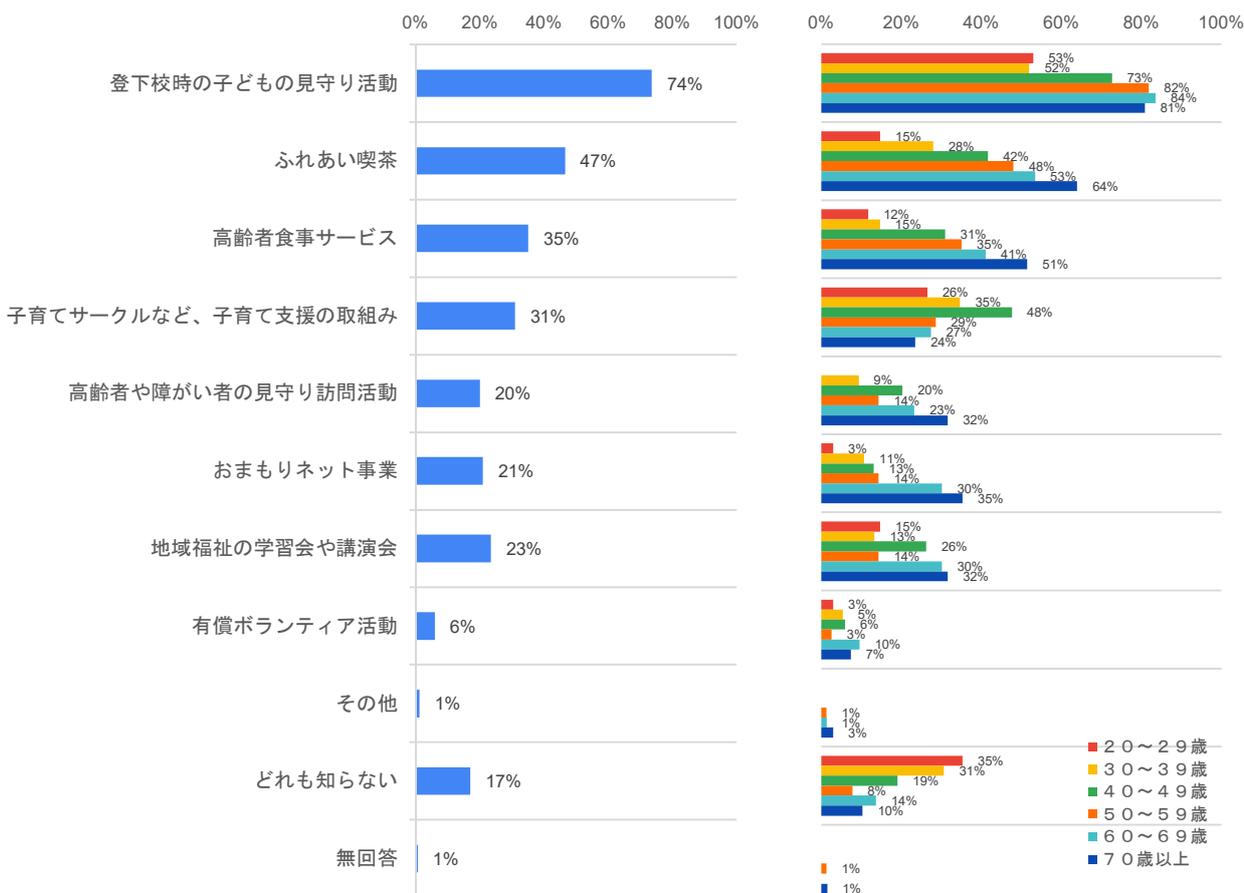
問13 東成区では、様々な地域福祉の取組みを地域が主体となって行われています。
次の中で知っている取組みは何ですか？【複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 登下校時の子どもの見守り活動	354	73.6
2 ふれあい喫茶	224	46.6
3 高齢者食事サービス	169	35.1
4 子育てサークルなど、子育て支援の取組み	149	31.0
5 高齢者や障がい者の見守り訪問活動	96	20.0
6 おまもりネット事業	101	21.0
7 地域福祉の学習会や講演会	113	23.5
8 有償ボランティア活動	29	6.0
9 その他	6	1.2
10 どれも知らない	82	17.0
無回答	3	0.6
回答者数	481	

- その他の主な意見
- ・子ども食堂
 - ・いきいき百歳体操

<全体>

<年代別>



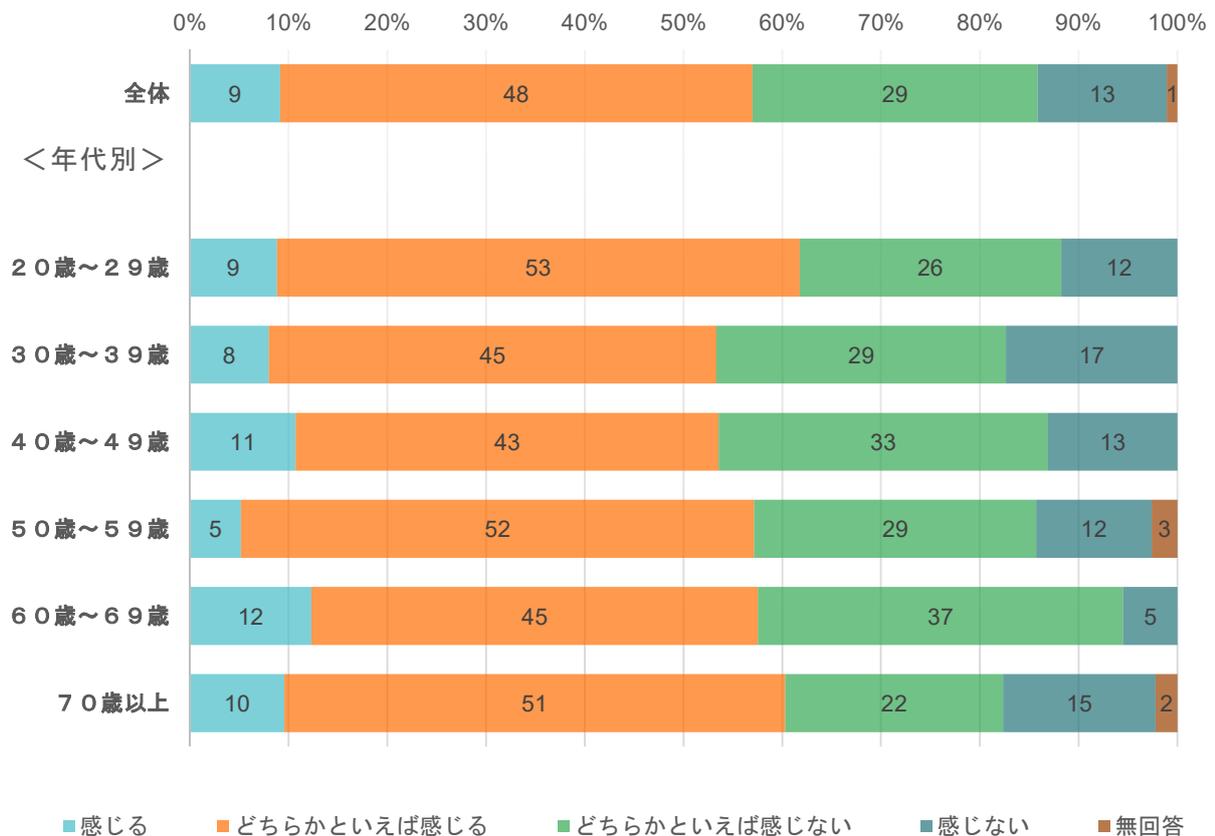
●地域福祉の取組みでは「登下校時の子どもの見守り活動」が浸透している

- ・地域福祉の取組みについては、「登下校時の子供の見守り活動」が73.6%で最も知られており、「ふれあい喫茶」が46.6%、「高齢者食事サービス」が35.1%、「子育てサークルなど、子育て支援の取組み」が31.0%、と続きます。
- ・「どれも知らない」が17.0%あることから、様々な地域福祉の取組みを広く知っていただけるよう区広報紙「ひがしなりだより」やホームページ等を活用し、周知に努めます。

◆◆◆◆【地域福祉について】◆◆◆◆

問14 問13のように、様々な地域福祉の取組みが行われていますが、その取組みが充実していると感じますか？

項目	回答数	比率(%)
1 感じる	44	9.1
2 どちらかといえば感じる	230	47.8
3 どちらかといえば感じない	139	28.9
4 感じない	63	13.1
無回答	5	1.0
回答者数	481	



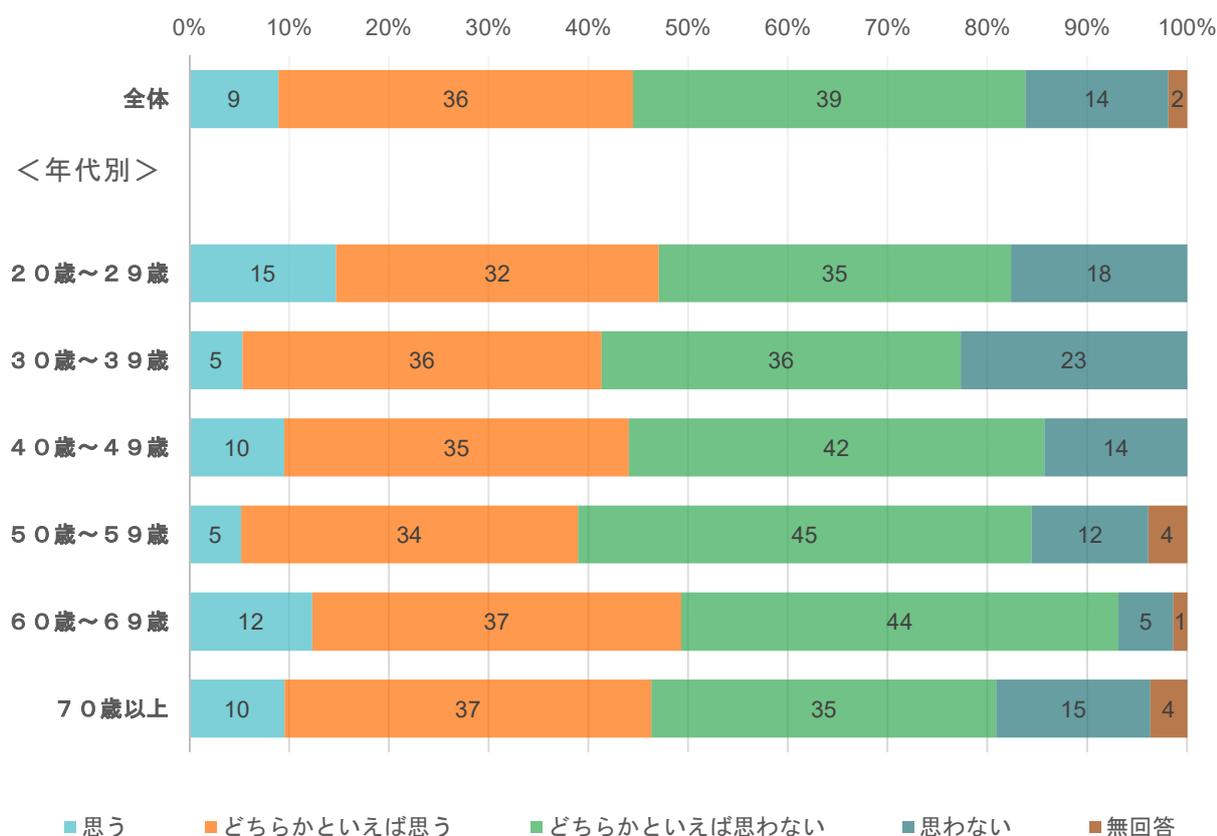
●地域福祉の取組みが充実していると感じている方の割合が56.9%

- ・地域福祉の取組みが充実してきていると「感じる」が9.1%、「どちらかといえば感じる」が47.8%と全体の56.9%となっており、昨年度の同様のアンケート結果より約10%増加しました。
- ・「どちらかといえば感じない」が28.9%、「感じない」が13.1%と全体の42.0%となっており、昨年度の同様のアンケート結果より約10%減少しました。
- ・全年代別で地域福祉の取組に対して肯定的な傾向にありました。

◆◆◆◆【地域福祉について】◆◆◆◆

問15 各地域でさまざまな方が地域福祉活動に取り組んでおられますが、それらの取組みの中で「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」が行われていると思いますか？

項目	回答数	比率(%)
1 思う	43	8.9
2 どちらかといえば思う	171	35.6
3 どちらかといえば思わない	189	39.3
4 思わない	69	14.3
無回答	9	1.9
回答者数	481	



●4割強の方が「声かけ」「見守り」等の取組みが行われていると感じている

・「声かけ」「見守り」等が行われていると「思う」が8.9%、「どちらかといえば思う」が35.6%となっており、44.5%の方が、これらの取組みが行われていると肯定的に感じてますが、「どちらかといえば思わない」39.3%、「思わない」14.3%と否定的に感じておられる方は53.6%と過半数を超えている状況です。

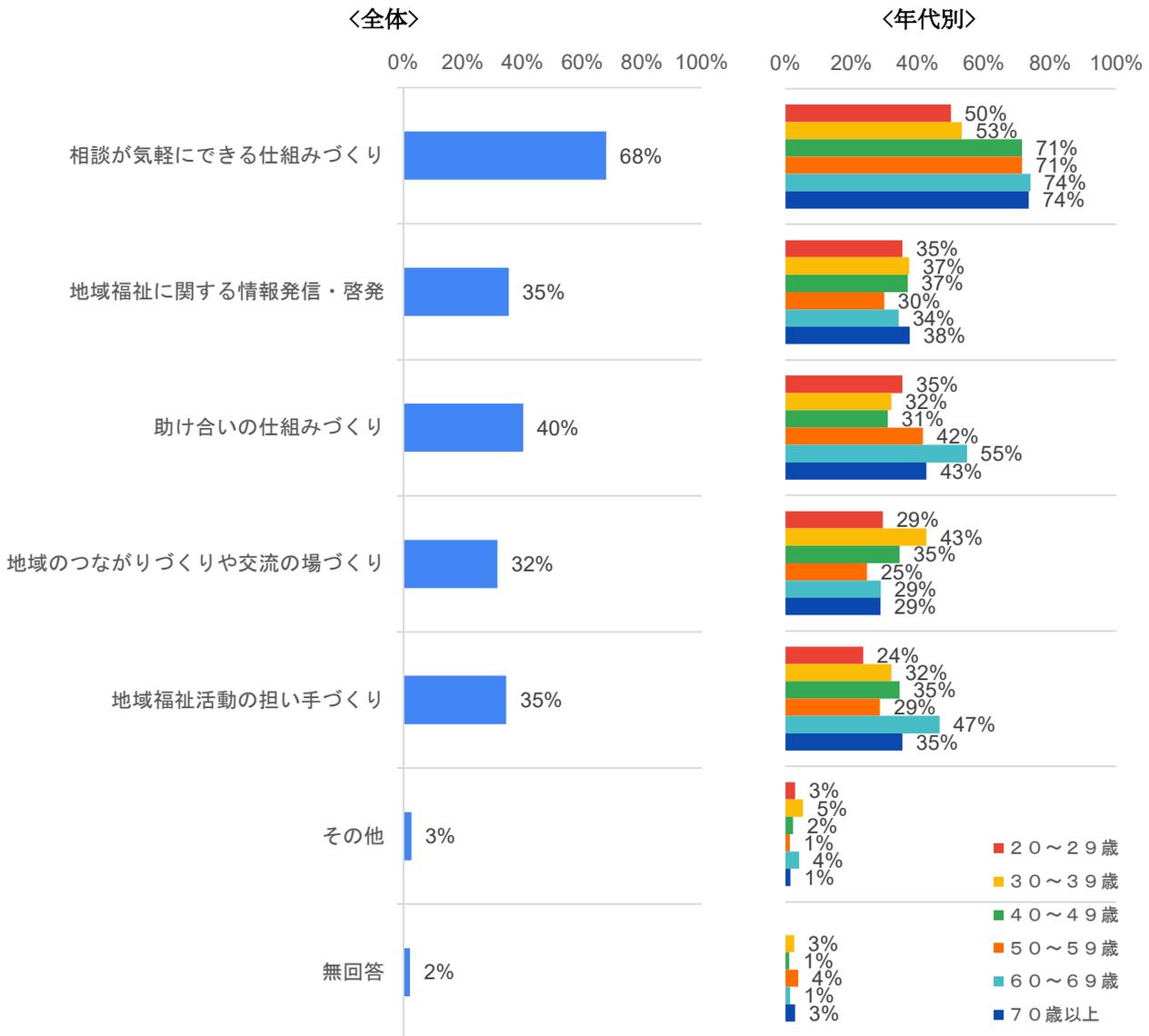
・年代別でみると30歳代以下では「思わない」の回答の割合が他の年代と比較して高くなっており、これらの方々へも地域のつながりを実感していただけるよう、より一層地域福祉活動の活性化を支援します。

◆◆◆◆【地域福祉について】◆◆◆◆

問16 今後、地域福祉をより充実させるためには、主にどのような取組みが必要だと思いますか？
【3つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 相談が気軽にできる仕組みづくり	327	68.0
2 地域福祉に関する情報発信・啓発	170	35.3
3 助け合いの仕組みづくり	193	40.1
4 地域のつながりづくりや交流の場づくり	152	31.6
5 地域福祉活動の担い手づくり	166	34.5
6 その他	13	2.7
無回答	11	2.3
回答者数	481	

- その他の主な意見
- ・子育て支援
- ・地域福祉アプリの作成



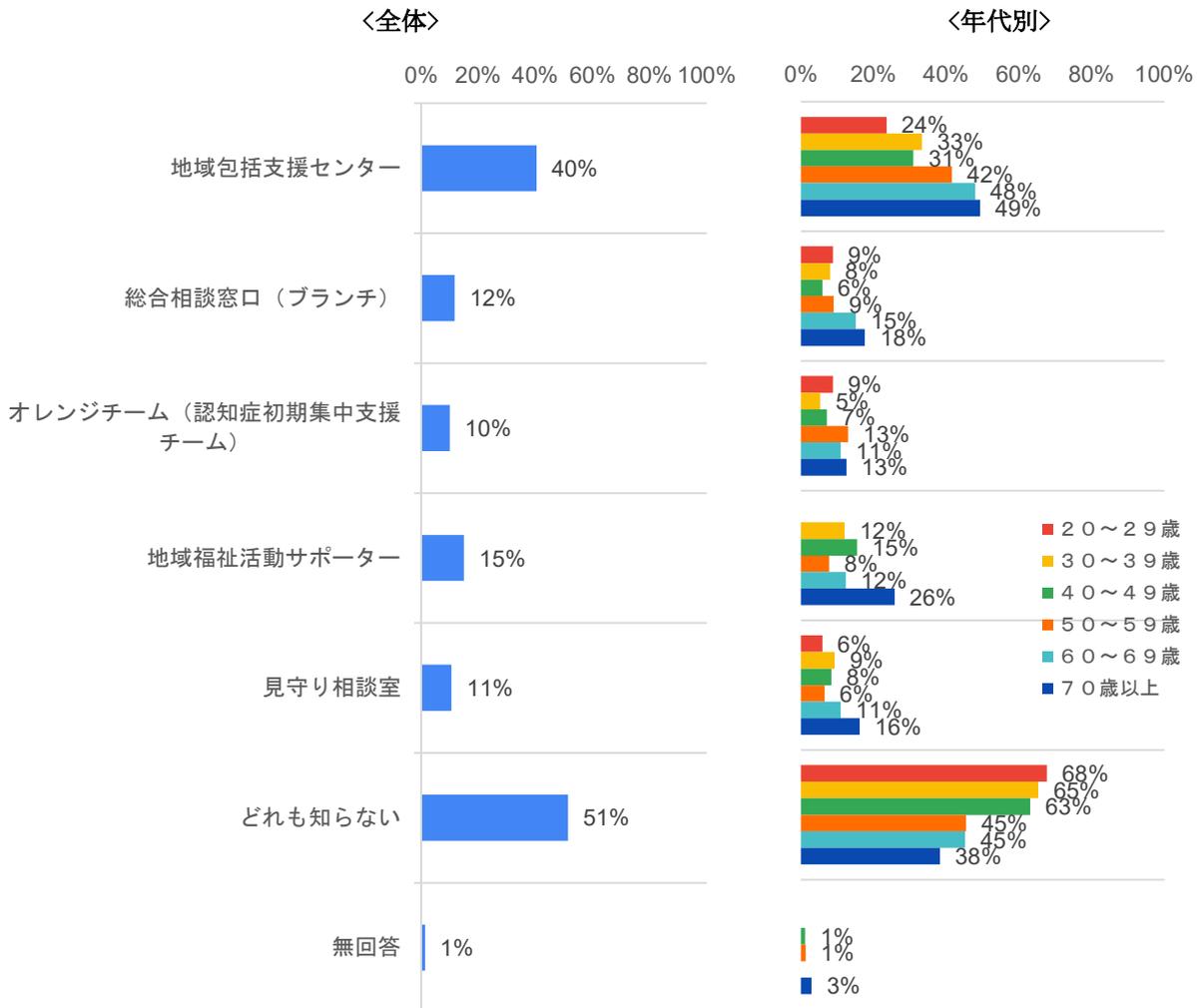
●約7割の方が「相談が気軽にできる仕組みづくり」が必要と考えている

- ・「相談が気軽にできる仕組みづくり」が68.0%と最も高く、次に「助け合いの仕組みづくり」が40.1%、「地域福祉に関する情報発信・啓発」が35.3%と続きます。
- ・今後も関係機関と連携し、地域の身近なところで福祉に関する相談ができる体制づくりを推進するとともに、地域にある相談窓口や地域福祉に関する情報を広く発信していきます。

◆◆◆◆【地域福祉について】◆◆◆◆

問17 東成区には、高齢者の方の支援や、地域福祉活動の推進などを行う、様々な相談窓口があります。次のうち、知っているものはありますか？【複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 地域包括支援センター	194	40.3
2 総合相談窓口(ブランチ)	56	11.6
3 オレンジチーム(認知症初期集中支援チーム)	48	10.0
4 地域福祉活動サポーター	72	15.0
5 見守り相談室	51	10.6
6 どれも知らない	247	51.4
無回答	6	1.2
回答者数	481	



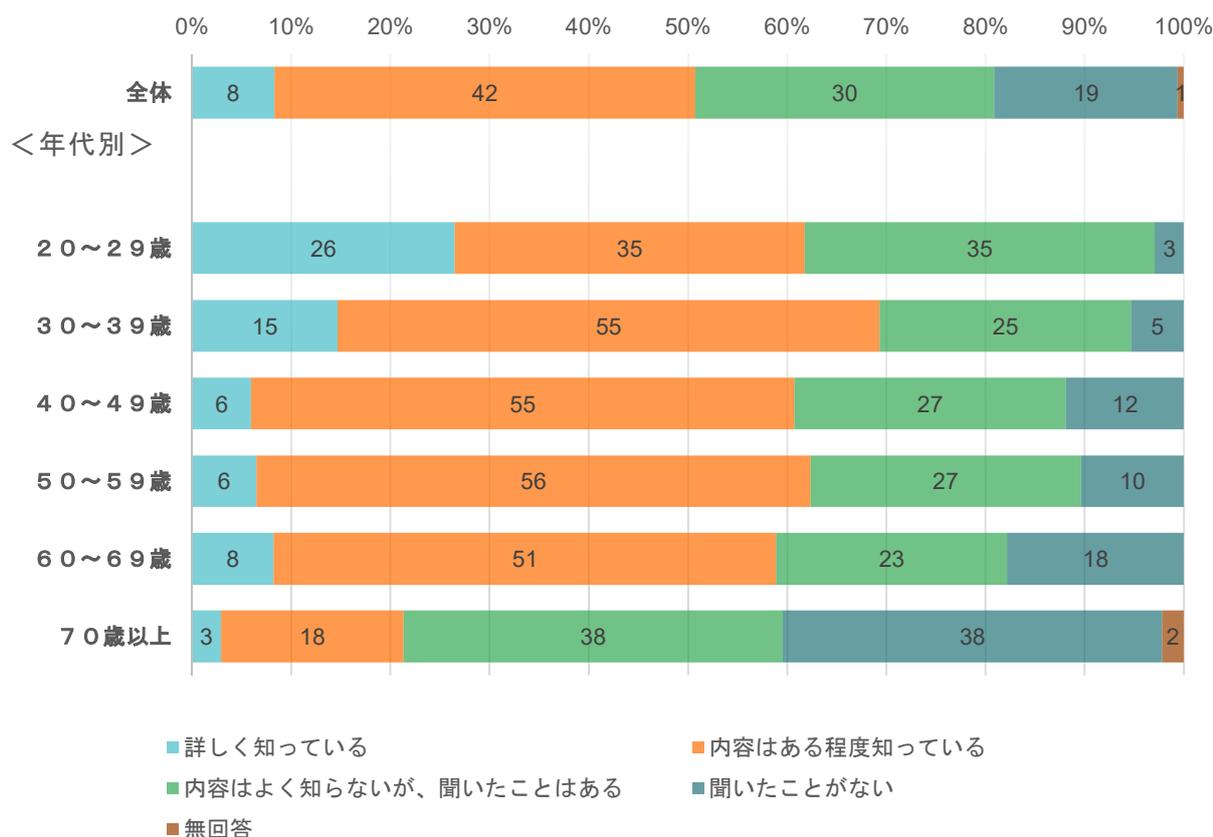
●「地域包括支援センター」が地域の相談窓口として最も知られている

- ・全体の4割が「地域包括支援センター」のことを知っており、高い年代になるほど、知っている割合が増加している傾向にあります。
- ・対して全体の5割の方が「どれも知らない」となっており、年代が下がるほど知らない割合が増加し、20～40歳代においては6割以上の方が「どれも知らない」となりました。
- ・地域にはたくさんの相談窓口があり、その存在を知っていただき気軽に相談できることが重要です。区広報紙「ひがしなりだより」やホームページ、各種リーフレットを効果的に活用し、多くの方に知っていただけるよう努めます。

◆◆◆◆【SDGs(エス・ディー・ジーズ)について】◆◆◆◆

問18 あなたはSDGs(エス・ディー・ジーズ、持続可能な開発目標)という言葉を知っていますか？

項目	回答数	比率(%)
1 詳しく知っている	40	8.3
2 内容はある程度知っている	204	42.4
3 内容はよく知らないが、聞いたことはある	145	30.1
4 聞いたことがない	89	18.5
無回答	3	0.6
回答者数	481	



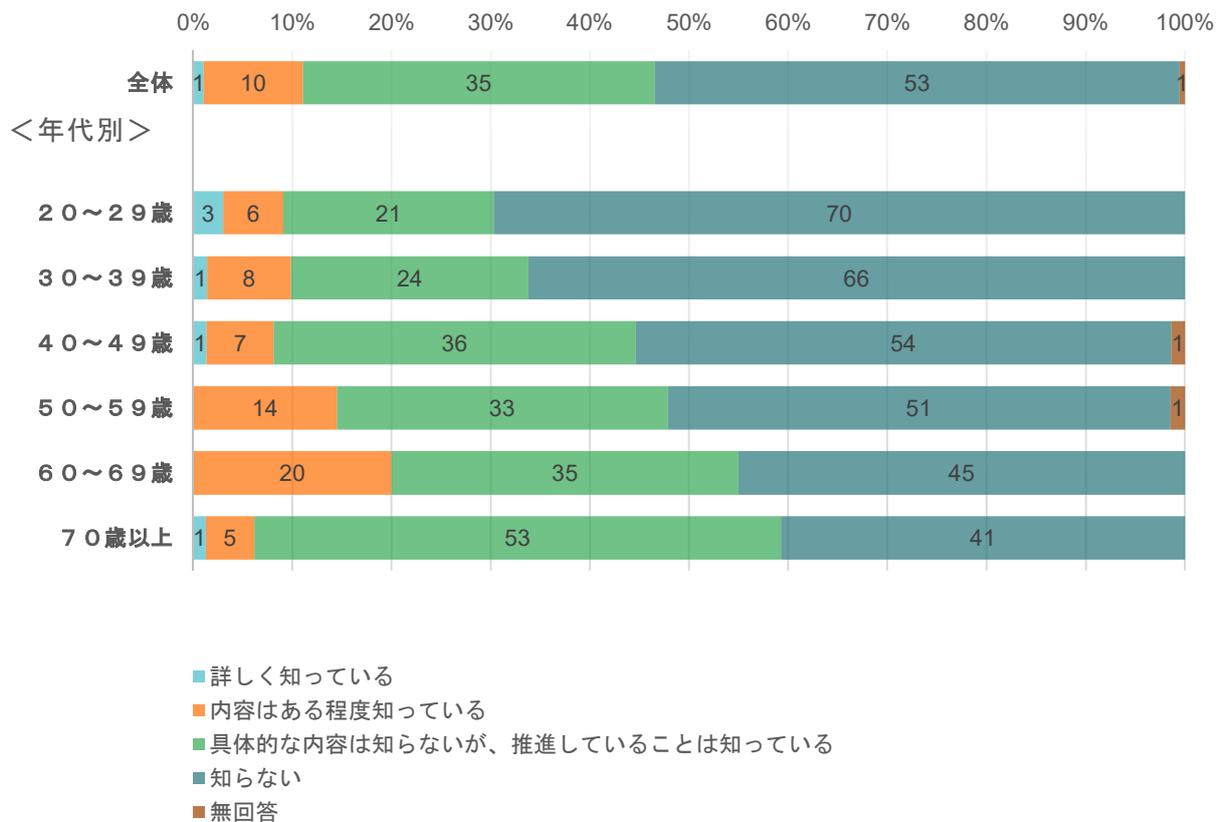
●8割の方がSDGsについて知っている

- ・全体の5割の方がSDGsについて、「詳しく知っている」「内容はある程度知っている」と回答、「聞いたことがある」と回答した方を含めると8割の方がSDGsについて知っている傾向となりました。
- ・年代別で見ると「詳しく知っている」割合は20歳代・30歳代で高く、70歳以上ではほとんどの方が詳しく知らない傾向となりました。
- ・70歳以上の約4割の方がSDGsを聞いたことがないという結果となりました。

◆◆◆◆【SDGs(エス・ディー・ジーズ)について】◆◆◆◆

問19 問18で「1 詳しく知っている」および「2 内容はある程度知っている」「3 内容はよく知らないが、聞いたことはある」と回答した方にお聞きます。
東成区は区政全般にわたりSDGsへの取組みを推進していますが、あなたはそのことを知っていますか？

項目	回答数	比率(%)
1 詳しく知っている	4	1.0
2 内容はある程度知っている	39	10.0
3 具体的な内容は知らないが、推進していることは知っている	138	35.5
4 知らない	206	53.0
無回答	2	0.5
回答者数	389	



●53%の方は東成区が区政全般にわたりSDGsへの取組みを推進していることを知らない

- ・「具体的な内容は知らないが、推進していることは知っている」割合が35.5%であるのに対し、内容を知っている方の割合は11%と最も低い。
- ・年代が低くなるほど東成区がSDGsへの取組みを推進していることを知らない割合が高くなっています。特に20歳代については7割の方が「知らない」と回答しています。
- ・昨年度と比べて「知っている」割合が35%から46%と増加していますが、若年層には知られていない傾向にあります。

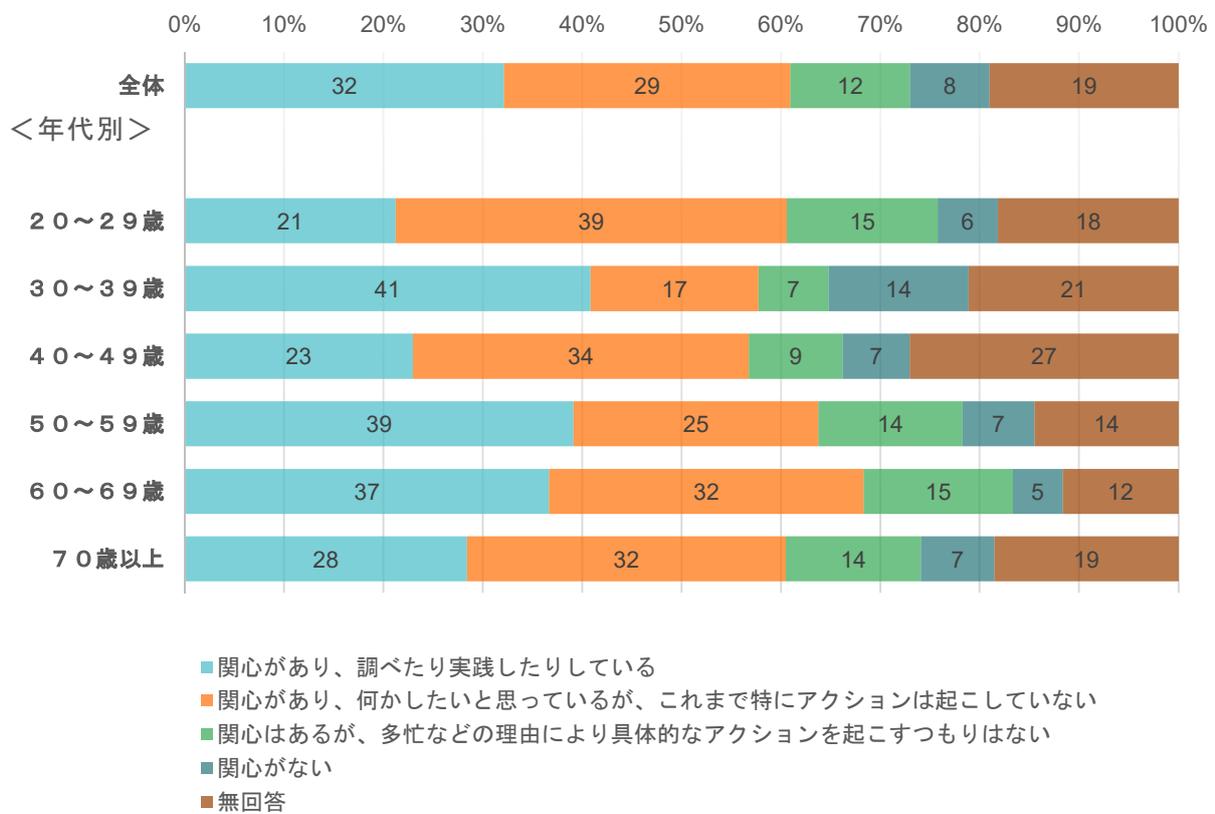
◆◆◆◆【SDGs(エス・ディー・ジーズ)について】◆◆◆◆

問20 問18で「1 詳しく知っている」および「2 内容はある程度知っている」「3 内容はよく知らないが、聞いたことはある」と回答した方にお聞きします。

あなた自身はSDGsに関心があり、実践していますか？

(SDGsの実践例：節電、節水、ごみの分別、エコバック、マイボトルの使用等)

項目	回答数	比率(%)
1 関心があり、調べたり実践したりしている	125	32.1
2 関心があり、何かしたいと思っているが、これまで特にアクションは起こしていない	112	28.8
3 関心はあるが、多忙などの理由により具体的なアクションを起こすつもりはない	47	12.1
4 関心がない	31	8.0
無回答	74	19.0
回答者数	389	



●SDGsを知っている、聞いたことがある方の6割の方が行動に対しても前向き

・SDGsを知っている、聞いたことがある方の中で、調べたり実践している方の割合は32.1%で、昨年の9%より大幅に増加しました。

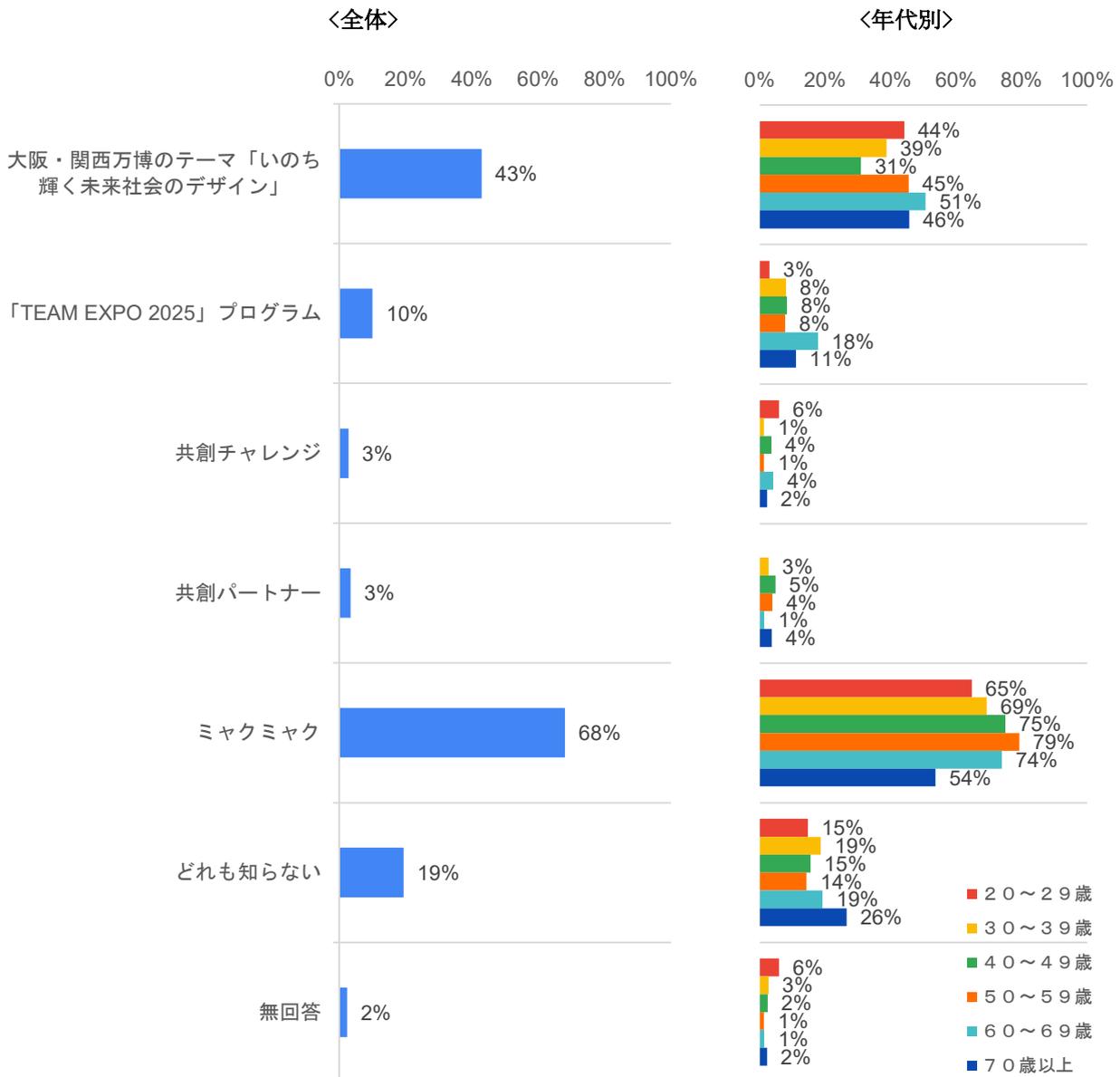
・関心がある方のなかで、何かしたいと思っているが、特にアクションをおこなっていない方の割合は28.8%となり、昨年の同様のアンケートでは41%であったため、アクションを起こした方が増加しています。

・今後も関心がある方が気軽に行動に移せるよう、日々の生活でも取り組める具体的な行動例を、区広報紙「ひがしなりだより」やホームページ等を通じて広報していきます。

◆◆◆◆【SDGs(エス・ディー・ジーズ)について】◆◆◆◆

問21 2025年に開催が予定されている大阪・関西万博は、そのテーマを「いのち輝く未来社会のデザイン」と定め、SDGs達成への貢献をめざしています。
大阪・関西万博に関連のある次の言葉のうち、知っているものはありますか？【複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」	206	42.8
2 「TEAM EXPO 2025」プログラム	48	10.0
3 共創チャレンジ	13	2.7
4 共創パートナー	16	3.3
5 ミyakumiyaku	327	68.0
6 どれも知らない	93	19.3
無回答	11	2.3
回答者数	481	



●約7割の方に大阪・関西万博公式キャラクター「ミyakumiyaku」が認知されている。
 ・大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」について、全体の約4割の方が認知している。全年代別では40歳代が31%と最も低く、60歳代が51.0%と最も高くなりました。
 ・テーマと公式キャラクター以外の大阪・関西万博に関連する言葉はあまり認識されておらず、約2割の方が「どれも知らない」と回答しました。

◆◆◆◆【広報について】◆◆◆◆

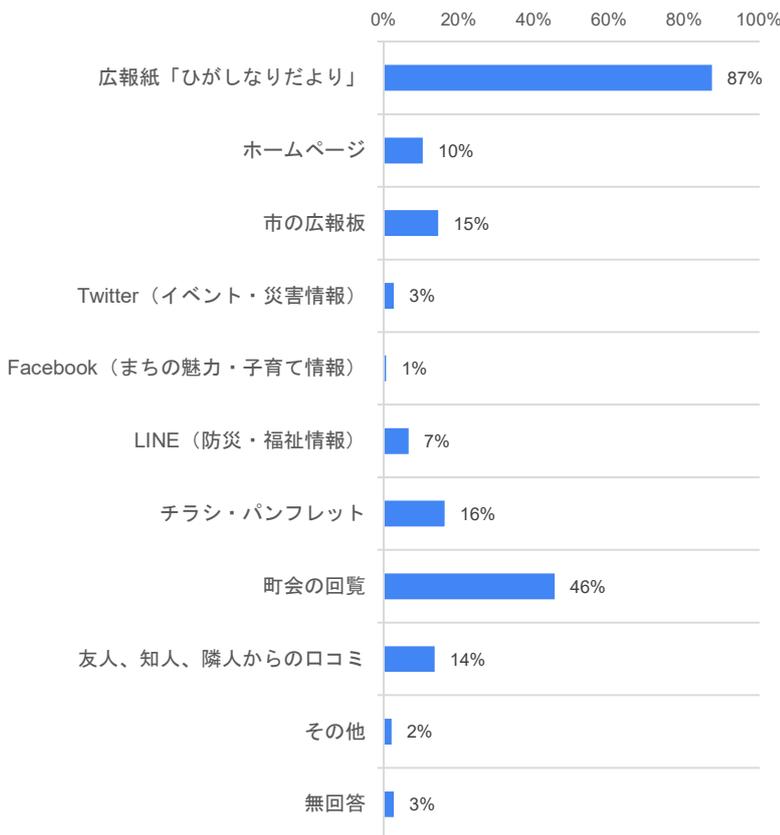
東成区では、区政に関する情報が区民全体に届けられるよう様々な広報媒体を活用し、わかりやすく魅力的な広報に努めています。

問22 東成区からの情報をどのような媒体から入手していますか？【6つ以内で複数回答可】

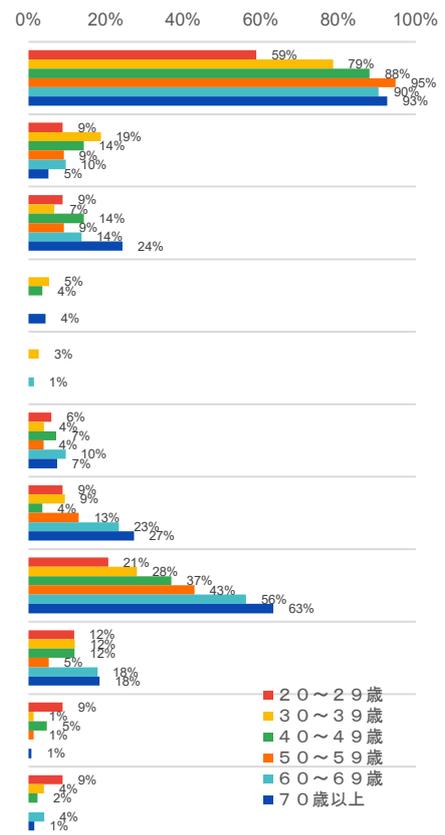
項目	回答数	比率(%)
1 広報紙「ひがしなりだより」	420	87.3
2 ホームページ	50	10.4
3 市の広報板	70	14.6
4 Twitter(イベント・災害情報)	13	2.7
5 Facebook(まちの魅力・子育て情報)	3	0.6
6 LINE(防災・福祉情報)	32	6.7
7 チラシ・パンフレット	78	16.2
8 町会の回覧	219	45.5
9 友人、知人、隣人からの口コミ	65	13.5
10 その他	10	2.1
無回答	13	2.7
回答者数	481	

●その他の主な意見
 ・ 掲示板や回覧板
 ・ どれも見ていない

<全体>



<年代別>



●広報媒体で最も利用されているのは広報紙

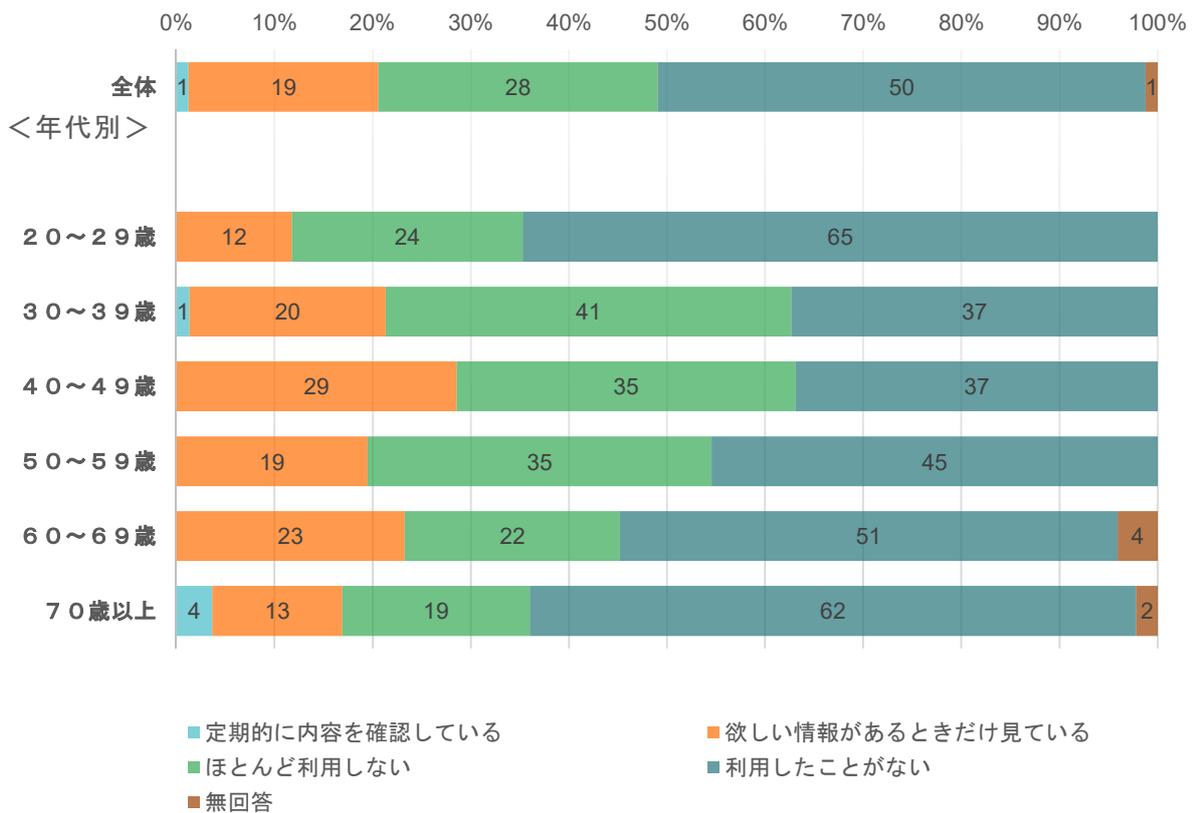
・ 広報紙のほか町会の回覧、チラシ・パンフレット等の紙媒体から情報を入手されている方が多く、SNS等からの情報を入手されている方は少ない結果となりました。年代別で見ると、年齢層が高くなるほど紙媒体で情報を得る割合が高い傾向になることが分かりました。

・ 今後も引き続き魅力ある広報紙作りに取り組むとともに、広報内容に応じて様々な媒体を使い分けることで効果的な情報発信に努めます。

◆◆◆◆◆【広報について】◆◆◆◆◆

問23 東成区のホームページをどのくらいの頻度で利用していますか？

項目	回答数	比率(%)
1 定期的に内容を確認している	6	1.2
2 欲しい情報があるときだけ見ている	93	19.3
3 ほとんど利用しない	137	28.5
4 利用したことがない	239	49.7
無回答	6	1.2
回答者数	481	



●東成区のホームページを利用したことがない方の割合は約5割

・「利用したことがない」が49.7%と最も多く、「ほとんど利用しない」が28.5%と続きます。「欲しい情報があるときだけ見ている」の19.3%と、「定期的に内容を確認している」の1.2%を合わせた利用率は20.5%でした。

◆◆◆◆【広報について】◆◆◆◆

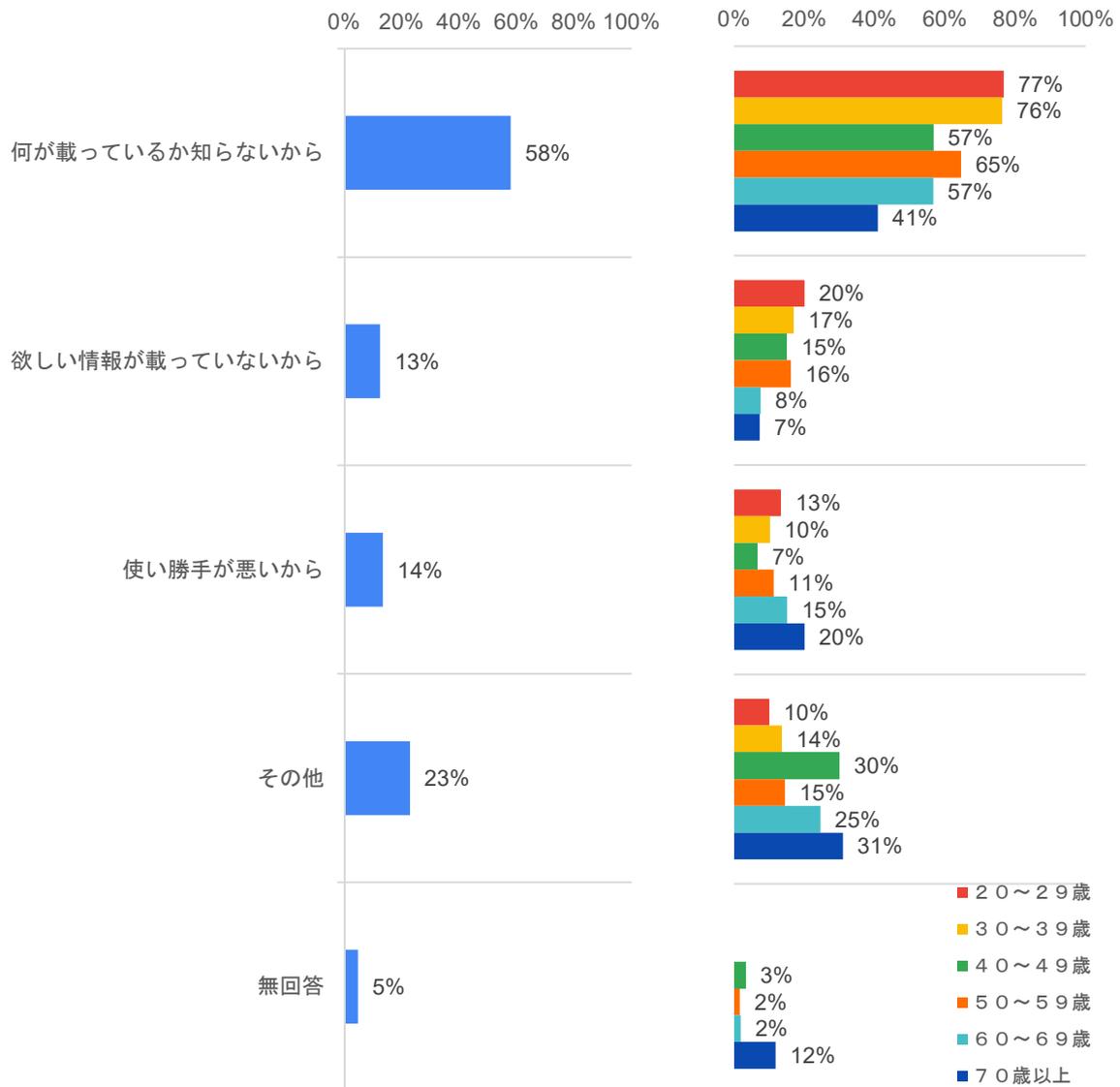
問24 問23で「3 ほとんど利用しない」および「4 利用したことがない」と回答した方にお聞きます。
 あなたが東成区のホームページを利用しない理由は何ですか？【2つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 何が載っているか知らないから	218	58.0
2 欲しい情報が載っていないから	47	12.5
3 使い勝手が悪いから	51	13.6
4 その他	86	22.9
無回答	18	4.8
回答者数	376	

- その他の主な意見
- ・パソコン、スマホを持っていない
 - ・広報誌で足りている
 - ・ホームページがあることを知らない

<全体>

<年代別>



●ホームページを利用しない最も多い理由は、「何が載っているか知らないから」
 ・「何が載っているか知らない」と回答した方の割合は58.0%で、年代別にみると、20歳代・30歳代の方でその傾向が高い結果となりました。
 ・今後も引き続き、利用者にとって情報を入手しやすく、わかりやすいホームページの情報発信に努めます。

◆◆◆◆【広報について】◆◆◆◆

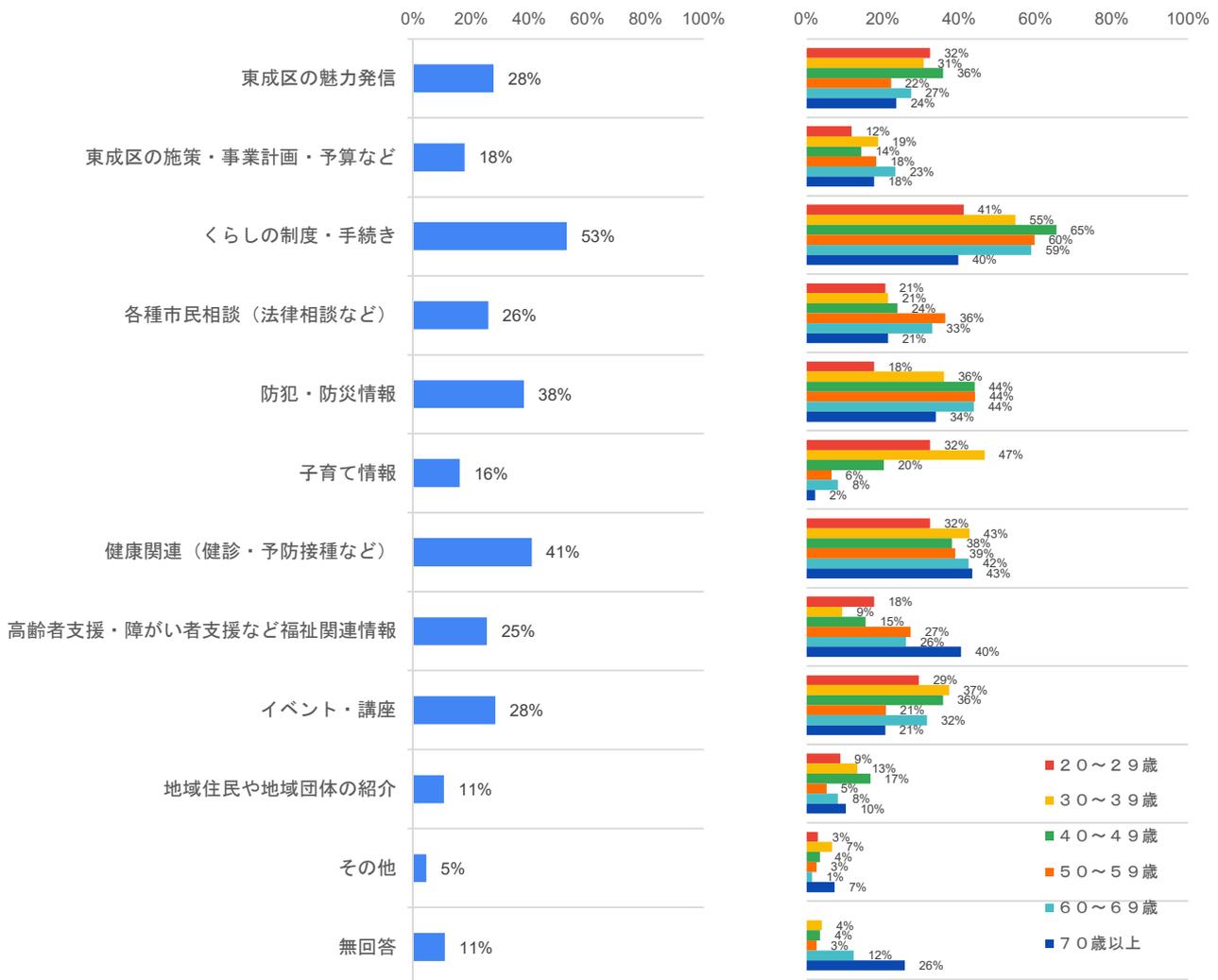
問25 ホームページやSNSでどのような内容を充実してほしいですか？【6つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 東成区の魅力発信	133	27.7
2 東成区の施策・事業計画・予算など	85	17.7
3 暮らしの制度・手続き	254	52.8
4 各種市民相談（法律相談など）	124	25.8
5 防犯・防災情報	183	38.0
6 子育て情報	77	16.0
7 健康関連（健診・予防接種など）	196	40.7
8 高齢者支援・障がい者支援など福祉関連情報	122	25.4
9 イベント・講座	136	28.3
10 地域住民や地域団体の紹介	51	10.6
11 その他	22	4.6
無回答	52	10.8
回答者数	481	

●その他の主な意見
 ・保険、支援の情報
 ・ホームページやSNSの使い方が分からない
 ネット難民が置き去りになる

<全体>

<年代別>



●最も多くの方が充実してほしいと思う情報は「暮らしの制度・手続き」
 ・「暮らしの制度・手続き」が52.8%で最も多く、「健康関連（健診・予防接種など）」が40.7%、「防犯・防災情報」が38.0%と続きます。
 ・年代別に見ると、「暮らしの制度・手続き」では、40歳代で特に高い結果となりました。

自由意見欄のご意見等

※ご意見やご要望をわかりやすく掲載するために、一部抜粋や修正を行っています。

- ・区のホームページが見つらい。高齢者にもわかりやすくしてほしいです。
- ・SDGsの取組みを、もっと東成区民以外にもアピールして、SDGsタウン東成区をめざしてほしい。
- ・子供たちの過ごしやすい町づくりや取組みがもっとあればいいと思います。
- ・東成区役所の建物は老朽化の点から東成区の様々な施設を総合的に集めた新区役所を建ててはどうか？
- ・東成区役所のみなさんは、親しみやすく雰囲気が良いと思います。
- ・東成区は住みやすい区だと思いますが駅周りの開発がいまいちな気がします。
- ・区役所の方々が親切で丁寧な対応をして下さるのでありがたく思っています。
- ・区役所窓口の待ち時間をもう少し短く出来るようにしてほしい。
- ・オンライン申請によるDX推進をお願いしたい。
- ・東成区独自の福祉サービスを充実してほしい。また、それが区民に伝わるよう情報発信にも力を注いでほしい。
- ・ビジネスに関連した情報も積極的に発信して欲しい。
- ・介護や子育てなどの情報が得られにくい気がする。
- ・子育てや見守り活動、あんパトさんなど小学生までの子どもには取組んでおられる様には思いますが中学生、高校生、大学生の子ども居場所がない様に思われます
- ・経費の削減など削減が良いという流れになっているが、それが防災などに関連してきている。必要な場所に必要な人員を配置して区民を守るべき。

掲載しているものの他にもたくさんのご意見等をいただいております。ご協力ありがとうございました。いただきましたご意見等を参考にさせていただき、東成区政に活かしてまいります。

区民アンケートに関しまして、ご意見やご不明な点等がございましたら、下記の連絡先までお問合せください。
【お問合せ先】東成区役所総務課（総合企画担当） TEL:06-6977-9683



東成区の情報はこちらでも発信しています！

LINE
(防災)



Twitter



facebook
(まちの魅力)



facebook
(子育て)

